

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>武庫川女子大学の立学の精神を実現し、薬学研究科の教育理念およびカリキュラム・ポリシーに基づいて設定された科目を学修し、薬と健康に関わる多様な職種 of 専門家に必要とされる知識・技能・態度を身につけ、薬科学科専攻（修士）にあつては2年以上在学し、卒業に必要な単位数（30単位以上）を修得し、薬科学専攻（博士）にあつては3年以上在学し、卒業に必要な単位数（10単位以上）を修得し、薬学専攻（博士）にあつては4年以上在学し、卒業に必要な単位数（32単位以上）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文あるいは博士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見をもとに、学長が課程修了を認定します。課程修了が認定された者には、修士（薬科学）、博士（薬科学）あるいは博士（薬学）の学位を授与します。</p>	<p>本研究科ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような人材養成の方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>薬に関する幅広く高度な専門知識と優れた研究能力を兼ね備えた薬剤師、高度な薬学的専門知識と科学的思考力を身につけ、薬学分野で広く研究・技術開発等の高度の専門性を有する研究者・職業人を育成するために、創薬系科学、生命系科学、臨床系科学を幅広く身につける編成としています。</p> <p>研究指導においては、複数の指導教員が担当し、学生・教員間のディスカッションを十分に行うという教育手法により、学生の理解を高めます。</p> <p>また、教育課程の評価については、修了年次に提出する学位論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>本研究科は「立学の精神」とそれに基づく教育目標に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）およびその教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた者を求めます。</p> <p>高度な専門性を有する研究者・職業人、研究能力を有する臨床薬剤師を目指す者で、優れた資質を持ち、研究に対して意欲を持っている者を受け入れます。</p>